

輸血部門

【企画趣旨】

近年、輸血検査においても検査機器の進歩により自動化が進んでいます。しかし、予期せぬ反応が検出された場合、試験管法で再検査を行う必要があることから、試験管法を用いた検査技術の習得が依然として重要です。また、最近では検査結果の信頼性がますます求められ、精度保証の考え方が浸透しつつあります。このような現況において、特に新規採用者や通常輸血検査に携わっていない時間外の勤務者への教育が大変重要となっています。

本シンポジウムでは、各施設における新規採用者や時間外勤務者向けの教育プログラムや内部精度管理の実施状況についての講演を通じて、精度保証のあり方と将来の展望、さらには課題について議論を行いたいと考えています。